



1997～1998年度RIテーマ

# Show Rotary Cares

ロータリーの心を

青い空 緑の山と風  
黄色のうねりは  
人類の理想 文化を表わす。  
それらが混然一体調和して  
ロータリーの理想に向って  
昂って行く姿を示している。



クラブの標語 **多摩の礎となろう**

...I serve の精神で...

国際ロータリー第2750地区

東京多摩グリーンロータリー・クラブ

No. 336 8-13

1997.10. 8 発行

# Weekly Report

入れのあった、多摩市総合福祉センターの見学会を承認  
4. 中山順一郎会員より申請の出席免除延長（10月末まで）  
を承認。

## ◎幹事報告

幹事 村上 久

①他クラブから例会変更

東京調布RC

東京飛火野RC

②米山事業報告書（1996）年度

③ロータクトの大江戸かわら版

以上回覧します。

## ◎国際ソロプチミスト多摩会長就任ご挨拶

由井 照子様

こんにちわ。発足以来7年になります。何かをやろう  
という事で企画を立てました。来年3月にチャリティーゴ  
ルフを内定いたしました。年内は11月にチャリティーバザ  
ーをいたします。どうぞご協力をお願い申し上げます。



## 委員会報告

## ◎ニコニコBOX

田中 實

小島 明 飛火野RC...来月の同窓会では長谷川さんに  
会場を格安で、又、先日の法事では関岡さん大変お世話  
になりました。

由井 照子。安藤きょう子...新任のご挨拶に伺いました。

佐伯 和廣...先日は美酒をありがとうございました。

## 第336回例会報告 (10/1)

(1997年～1998年度第13回例会)

司 会	SAA委員会	中山 登
◎点 鐘	会 長	吉澤 洋景
◎国歌斉唱	ソングリーダー	津守 弘範
◎ロータリーソング「それでこそロータリー」	ソングリーダー	津守 弘範
◎「四つのテスト」唱和	情報委員会	萩生田茂夫
◎お客様紹介	会 長	吉澤 洋景
東京飛火野RC		小島 明
国際ソロプチミスト多摩	会 長	由井 照子
	副会長	安藤きょう子
元米山奨学生		金 愛慶

## ◎会務報告 会長 吉澤 洋景

### 理事会報告

1. 上半期年会費未払者の扱いにつき審議した。  
その詳細は議事録に記録。
2. 第89回RI国際大会（インディアナポリス）について、  
クラブとして大会出席することとした。またその取りま  
とめ役を赤尾恭雄会員にお願い申し上げることにした。
3. 地域発展委員会より本年度活動計画の一環として申し

## 東京多摩グリーンロータリー・クラブ

会 長：吉澤 洋景      委 員：福島 達也・伊澤ケイ子  
幹 事：村上 久      加藤喜三郎・小泉 博  
会報委員長：田畑 博      大熊 将夫・宿院 利幸  
副委員長：中山順一郎      高村 弘  
例会場 京王プラザホテル多摩（たまつばき）

事務局：東京都多摩市落合1-43  
京王プラザホテル多摩 561号  
TEL 0423-72-6463/FAX 0423-72-6491

例会日 毎週水曜日12:30 月の最終例会18:30

橋口 洋三…元米山奨学生、金 愛慶さん卓話楽しみにしています。

赤尾 恭雄…藤本さん先週土曜日は大変お世話になりました。家内ともども楽しい思いをさせていただきました。

山崎 光一…金さん卓話宜しく願います。

皆さん今月は米山月間です。ご協力宜しく願います。

宇智田和秀…東京国際の月例杯Bクラスで優勝しました。

横倉さん、ニュータウンタイムズにのせて頂きありがとうございました。

根本 泰守…本日多摩市の酒（原峰のいずみ）発売日です。お陰様で5300本完売しました。

津守 弘範…前々回のSAAのお茶代の残りです。

森田 舞子…秋の長雨の後、久しぶりにお天気が続き良いことですネ。

杉野 志保子…気持ちいい秋晴れですね。

田島 真由美…天高く馬肥ゆる秋、何を食べてもおいしいです。肥るのが心配で…。

伊澤 ケイ子…素晴らしい秋晴れ、コスモスがきれいです。今日は？回目の誕生日です。

本日合計 金36,000円（累計 370,517円）

◎出席報告 出席委員長 森田 舞子

会員総数 56名  
出席義務者数 54名（出席免除者2名）  
出席者数 46名 欠席者 8名  
本日出席率 85.19%（46/54）

9/24	訂正出席率	90.74%	(49/57)
9/17	最終訂正出席率	90.74%	(49/54)

欠席者 猪股末男、北村幸彦、小林和夫、  
小坂一郎、小形勝子、高野範城、  
戸田昭寿、横倉譲

メイクアップ

小林和夫 9/25 地区社会奉仕委員会会議  
杉山英巳 9/25 東京成城新RC

◎雑誌委員会 須藤 起雄

月の初めにロータリーの友の紹介をして2回目になります。紹介と言うよりお願いをいたします。ガバナー月信ロータリーの友は会員である以上必ず購読しなければならないということです。ロータリーの友は200円で年会費か

ら支払っています。ロータリーとは。ロータリーの綱領。四つのテスト。が必ず書かれています。ロータリー用語の早わかり又今月は～月間であるかも書かれています。必ずお読み下さい。ロータリーの友に原稿を投稿していただきますようお願いを致します。

◎親睦委員会 佐伯 和廣

移動例会の10月20日早朝写真撮影について。20日朝5時ホテル前集合。朝食までには戻る予定です。どんなカメラでも結構です。寒いと思われるので気をつけて下さい。

◎米山奨学委員 委員長 山崎 光一

10月は米山月間です。日本のロータリーが国際事業として力を入れている三つのことがあります。

- ① ロータリー財団による学生の国外の派遣
- ② 青少年の国際交換（高校生）
- ③ 米山奨学金

米山奨学金は日本だけの制度です。米山奨学金は私費留学生を対照とする民間で最大の本格的な国際奨学制度で特にアジア諸国が必要としている学問的、技術的指導者の要請に果している役割は高く評価されています。今年度目標はあえて申し上げますが主旨をご理解いただきご協力をお願いします。あくまで寄付でございます。

◎卓話 元米山奨学生 津田塾大学&警察大学  
韓国語非常勤講師 金 愛慶様

皆様こんにちは。米山奨学金月間をむかえて多摩グリーンRCの例会で卓話をできることをうれしく思っています。私は、1988年度から2年間お茶の水女子大で修士課程在学中米山奨学生になって、西池袋RCでお世話になりました。その後博士課程を経て、今は韓国語の教育や放送の仕事に携わっています。私が米山奨学会から合格の知らせを聞いた時の喜びと、感激は今でもまざまざと覚えています。そこで今までの体験やロータリアンの皆様にお礼と感謝の気持ちを述べたいと思います。1986年4月日本文学の勉強のために日本に来ました。韓国にいた時は、韓国外語大学で4年間日本語を専攻して卒業の後5年間北海道拓殖銀行ソウル支社にいました。社会人として働いた事になります。ソウルでの大学当時は日本と韓国の経済の格差は大きかったので一般の国民の海外旅行はきびしく統制されていま

た。海外留学も一部の金持や優秀なひとにぎりの人だけに可能のことでした。どちらにも該当していなかったので私は自然に留学は縁のないものと思って在学中の専攻を生かして日本の会社に就職しました。最初のうちは、楽しかったのですがだんだんとつまらなく思うようになりました。そこで自分の力を十分生かすためもう一度大学に戻って日本文学を本格的に勉強したいと思いました。又、どうせやるのなら日本に行きたいと思い留学の道を探すことにしました。国威留学生は無理と思い私費留学生として決心をしました。又私費留学には米山奨学制度があることを友人から知りました。その後友人に励まされながらまじめにお金を貯めて留学の準備をして来ました。しかし日本に来た後必ずしも自分が米山奨学生になれるという保証はない事は私も良く知ってはいましたが、米山奨学金の存在は私に日本留学を決心させる勇気をあたえた決定的な切っ掛けになった事はまちがえありません。このようにして私は両親の反対を押し切って27才の時留学の手続きを初め、ほぼ終りかけていた頃思いもよらない事が起こりました。それは円高です。1ドル300円の計算をしていましたので当初の計画の1/3位まで減ってしまいました。しかし留学をあきらめられませんでした。日本に留学後きわめてつましい生活をしました。とりあえず勉強を続けられる希望があったので少しずつ、辛く感じなくなりました。でも親がとても心配するエピソードもありました。

修士課程の入学と共に米山奨学生になる幸運が舞い込んで来ました。当初奨学金の月11万円は大変大きなお金でありました。でも自分は勉強するために留学したので、それが続けられるのであればあまり大きな期待をしてはいけません。米山奨学金がもしだめであってもしかたないと思っていました。それが思いがけず合格の知らせがあった夜はうれしくて、夜中に何度も目が覚めてしまった事を思い出します。その後米山奨学金のおかげで順調な留学生活を送ることが出来ました。経済的安定により心の安らぎが得られましたし、落ちついて勉強に専念することが出来ました。博士課程にも進学できました。文学全集も身近に置いて利用することも出来ました。奨学会の学会参加費の援助で京都・北海道にまで参加出来ました。学会で知り合った素晴らしい仲間との出会いは、自分にとって一生忘れられない大事な体験でした。色々の面倒を見て下さったカウンセラーの方々と、いつも親切にして下さったクラブの方々又留学

生の仲間達、このような人々の出会いは、私が米山奨学生であったからこそ可能なことでした。私もとても恵まれた留学生活を送れたと思っていますのでこれからは私も、人の役に立ったことをやりたいと思っています。ロータリアンの奉仕の精神は素晴らしいものだと頭が下がります。これからも相変わらず留学生のために声援を送って下さることをお願いします。彼らは自国に戻ったら自国や世界のために役に立つ人間になることまちがいないと思います。日本人の皆様にとっては良い友人になると思います。ありがとうございました。



彼女の頑張りに拍手を送ります。

◎点鐘

会長 吉澤 洋景



(担当 伊澤)